



連携室通信

発行：公益財団法人 老年病研究所附属病院広報委員会 ISO9001 認証取得 日本医療機能評価機構認定病院

老年病研究所附属病院の理念

1. 地域の人々の健康を守るための、研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護、介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

老年病研究所附属病院の基本方針

1. 質の高い安全な医療の提供
2. 多職種によるチーム医療の実践
3. 職員教育の充実
4. 病院経営の安定
5. 新型コロナウイルス感染対策の徹底

新型コロナウイルス感染症の クラスター発生を経験して



老年病研究所
理事長 高玉 真光

本年1月20日、西棟回復期リハビリテーション病棟でPCR検査陽性となった新型コロナウイルス感染者が発見されました。

直ちに入院患者さんと職員全員のPCR検査が行われました。そのため、救急車の受け入れや新規外来診療の停止、近くの病院からのリハビリテーションの受け入れを停止しなければなりませんでした。

すぐさま保健所に報告し、クラスター対策チーム(C-MAT)の指導・助言を得て「西棟回復期リハビリテーション病

棟」を感染症病棟として入退院を止め、「北棟5号病棟」は濃厚接触者病棟としました。

感染症対策委員長の合田史先生の指示により、PCR陽性となる患者さんには、抗体療法が施されました。約30名の感染患者さんの治療を行い、専門家の指導を受けながら、救急車の受け入れや新規外来診療、リハビリテーションを順次再開してきました。

この大きな経験は改めて全職員の感染対策の意識と防護技術の向上に役立つものと考えております。

3月2日に今回の新型コロナウイルス感染症の院内クラスターの終息宣言を行い、すべての病院機能が通常どおり動き出し、3月末には病床稼働率が80%を越える状況にいたっております。

病院は当然のことですが、老人保健施設「陽光苑」も感染予防を徹底して、通所リハビリテーションを再開しております。

どうか御安心ください。今年度も地域の皆様の健康を守るために努力して参ります。

前橋地域リハビリテーション広報支援センターより あなたにピッタリなのはどんな杖？ 【Part 1】

リハビリテーション部 中條 浩樹

■どんな杖を選べばいいのか？

杖は、私たち理学療法士にとって非常に身近な道具です。杖を使うことで歩くことのできなかつた患者さんが歩けるようになり、より安定した歩き方ができるようになります。

ただし杖と一口にいっても形や大きさなど様々な種類があり、その杖がどんな人に向いているかももちろん違います。使う杖を間違えると、その人がせっかく持っている能力を活かせず、かえって歩く邪魔になってしまう事もあります。

ここではリハビリテーションで用いる代表的な杖とその特徴について、簡単ではありますがまとめてみます。

■T字杖



杖と聞いて一番イメージしやすい、一般的な杖です。グリップ（握り）の部分と支えの部分が T の字になっていることからこの名前がついています。一本杖と呼ぶこともあります。

両脚の筋力やバランス能力が全体的に低下している人や、片側の脚の機能を悪くした人に向いています。

ただし腕、特に手首の力がある程度必要なこと、杖自体が不安定なことから重度の症状を持つ人には向きません。何も無しで歩くことは出来ないけれど、手すりや壁に片手をついていれば歩けるくらいの人にお勧めです。また普段は必要なくても、体力に不安のある方が疲れた時のために持ち歩くこともあります。

最も普及しているタイプの杖なので素材の種類やデザインも多く、細かな追加機能もいろいろあります。例えば折りたたみできるタイプは、外出して食事する時など必要ない時にはバッグの中にしまっておけるので便利です。

グリップの形状も様々ですが、掌の形にフィットし、接触面積が広く全体的に体重をかけられる形状の方が長く歩いていて疲れません。

次号もぜひお楽しみに！



SST（脳卒中サポートチーム）連載コラム ～脳卒中の治療は時間との戦いです！その3～



脳卒中サポートチーム 脳神経外科 谷崎 義生

前回予告した、当院の優秀な劇団員（職員）が作成した動画が完成しました。

世の中には、専門家が作成した優れた動画がたくさんありますが、当院では職員の研修をかねて、手作りの動画を作成しています。

現在、老年病研究所附属病院のホームページから見られるように鋭意作業中です。動画を参考にして、「1. 顔面の歪み、2. 上肢の麻痺、3. 言語障害」を家族や近所の人と一緒に真似をしてやってみましょう！



お知らせ



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、病院側で必要と判断した場合を除き、入院患者さんへの面会は原則禁止としております。皆様のご理解とご協力をお願いします。以下のような場合、受付に声かけをお願いします。

- ・入院患者さんが重症・急変・危篤状態で面会をする
- ・ケアマネ・他施設職員・医療業者等が患者状態確認の必要がある
- ・入院時・手術時に医師より病状説明・治療方針等の説明がある
- ・洗濯物の受け渡しを行う（病棟エレベーター前に対応）
- ・転棟時の書類記載等の手続きを行う
- ・退院時の退院手続きを行う

来院時は手指消毒・マスク着用の徹底をお願いします。



受診時のお願い



下記のような場合は事前に病院受付までご連絡をお願いします。

- ・息苦しさや強いだるさ、高熱などの強い症状がある
- ・発熱や咳など比較的軽いかぜの症状がある
- ・発熱や咳など比較的軽いかぜの症状が何日も続いている

連絡先：027-253-3311（病院代表）



花名：ハンカチの木
花言葉：清潔
撮影者：松原信子様

受付時間

午前8:30~11:30まで(初診・土曜日は11:00まで) / 午後1:30~4:00まで

※急患は24時間受付けております
 ※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診

※歯科口腔外科は第2・第4土曜も診察しています

令和4年4月1日

診療科目	曜日	月	火	水	木	金	土
内科	午前	高玉 真光 合田 史	高玉 真光 合田 史 小池 陽子(9:00~)	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰 直田 匡彦	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰 合田 史(10:30まで)
	午後		小池 陽子(14:00まで)				
禁煙外来	午前			勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	勝山 彰(完全予約制)	
脳神経内科	午前	岡本 幸市 東海林 幹夫 菅原 隆	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 瓦林 毅 唐澤 将紀	岡本 幸市 池田 将樹	岡 大典(第1.5) 石澤 邦彦(第3)
	午後	石澤 邦彦	岡 大典	山内 洋子(15:30まで)	甘利 雅邦(完全予約制 14:00まで) 菅原 隆 唐澤 将紀	池田 将樹(15:30まで)	
物忘れ外来(脳神経内科)	午後			山口 晴保(完全予約制)			
循環器内科	午前		天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫
循環器内科(不整脈外来)	午前						田村 峻太郎
脳神経外科	午前	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	高玉 真	1診:内藤 功 2診:高玉 真	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	1診:宮本 直子 2診:内藤 功	1診:高玉 真 2診:宮本 直子
整形外科	午前	佐藤 圭司 加藤 良衛	島田 晴彦 柳橋 淳子(第3火曜 9:30まで)	佐藤 圭司 館野 勝彦 正木 博(第11番診察室)	佐藤 圭司(10:30まで) 加藤 良衛	館野 勝彦 島田 晴彦	佐藤 圭司(第1) 島田 晴彦(第1.5) 館野 勝彦(第3.5) 加藤 良衛(第3) 正木 博(第1.3.5 第11診察室)
	午後	加藤 良衛	正木 博(第3火曜休診)	館野 勝彦 柳橋 淳子	柳橋 淳子	島田 晴彦	
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤 遠藤 朝美	高玉 篤
	午後		高玉 篤	高玉 篤(病室)	高玉 篤		
皮膚科	午前	森本 奈緒子	森本 奈緒子		森本 奈緒子	森本 奈緒子	
泌尿器外来	午前	矢嶋 久徳		一ノ瀬 義雄			
	午後	矢嶋 久徳					
漢方外来(内科)	午前				古川 和美		
高血圧外来	午前	中村 哲也	中村 哲也				
糖尿病外来	午前		中村 保子				中村 保子
	午後					中村 保子	
内視鏡	午前			壁谷 建志(病)		乾 正幸(病)	
	午後					乾 正幸(火曜 第1.3.5)	
麻酔科	午前	増田 裕一		増田 裕一(10:30まで)		佐藤 美恵	
リハビリテーション科	午後				神宮 俊哉		
腎臓リウマチ内科	午後		今井 陽一(第1.3)				
歯科・口腔外科	午前	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之(第1.3.5) 戸谷 麻衣子(第2.4)
	午後	福士 宙之 戸谷 麻衣子	福士 宙之 戸谷 麻衣子		福士 宙之 戸谷 麻衣子 伊達 佑生	福士 宙之	

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311(代表) FAX 027-252-7575(代表)
 E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス http://www.ronenbyo.or.jp/

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135